



看護業務の効率化先進事例アワード 2023

スマートフォンを活用した 妊婦への説明と情報提供

—業務の効率化と利便性の向上をめざして—

学校法人聖路加国際大学
聖路加国際病院

最優秀賞

学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院



キリスト教の愛の心が人の悩みを救うために働けば
苦しみは消えてその人は生まれ変わったようになる
この偉大な愛の力をだれもがすぐわかるように
計画されてできた生きた有機体がこの病院である

ルドルフ・B・トイスラー (1933)

所在地	東京都 中央区
病床数	520床
入院基本料	特定機能病院入院基本料 特定集中治療室管理料 救命救急入院料
職員数	2,228名 (2023年12月1日時点)
うち看護職員数	975名
HP	https://hospital.luke.ac.jp/

病院方針：ICTを活用した業務の効率化の推進

- 業務の効率化
- 患者の利便性の向上
- 費用の削減



ICTを患者説明や病院からの情報配信に活用



当院は分娩数が1,400件/年と多く、年齢層からスマートフォンやコミュニケーションアプリを利用する割合が高いと考えられる妊婦を対象に、産科で取り組む

1 産科の助産師・看護師の負担

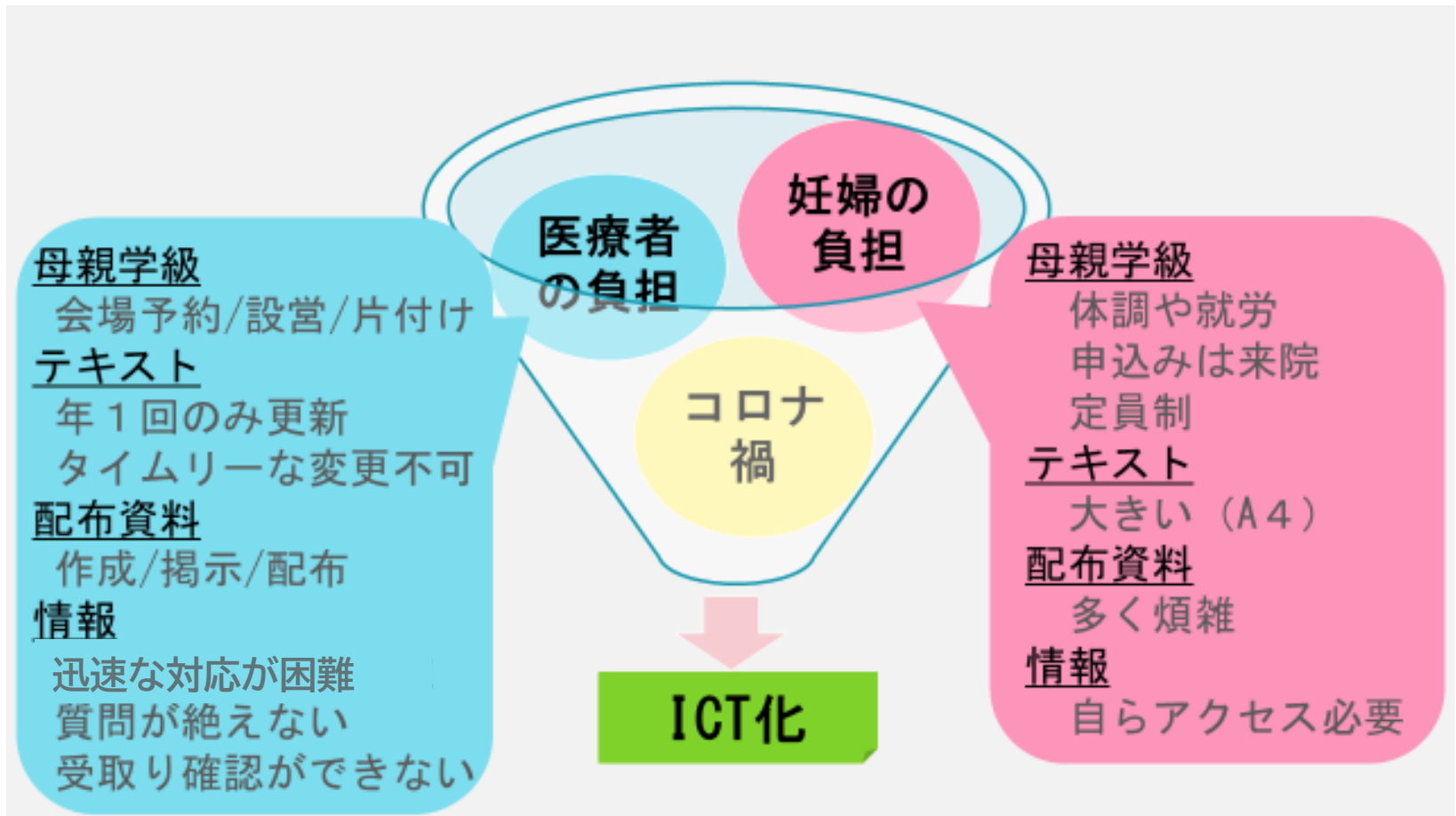
- 産科外来で産婦の説明に時間を要する
- 紙媒体テキストの修正には文書作成、印刷、配布などの手間がかかる
- 母親学級の案内・予約に関する業務負担や問い合わせ対応
- 母親学級の日程表示、予約票の発行に助産師間の連絡調整が必要

2 妊婦の負担と利便性の悪さ

- 週数に応じた情報提供ができていない
- テキストを読んでいない妊婦もいるため、配信方法の検討が必要
- 母親学級・両親学級の予約には来院が必要で妊婦の負担が大きい

3 | コロナ禍での情報配信の困難感

- 災害発生時等の緊急時にタイムリーな情報提供ができない
- ホームページの情報には妊婦自らアクセスすることが必要



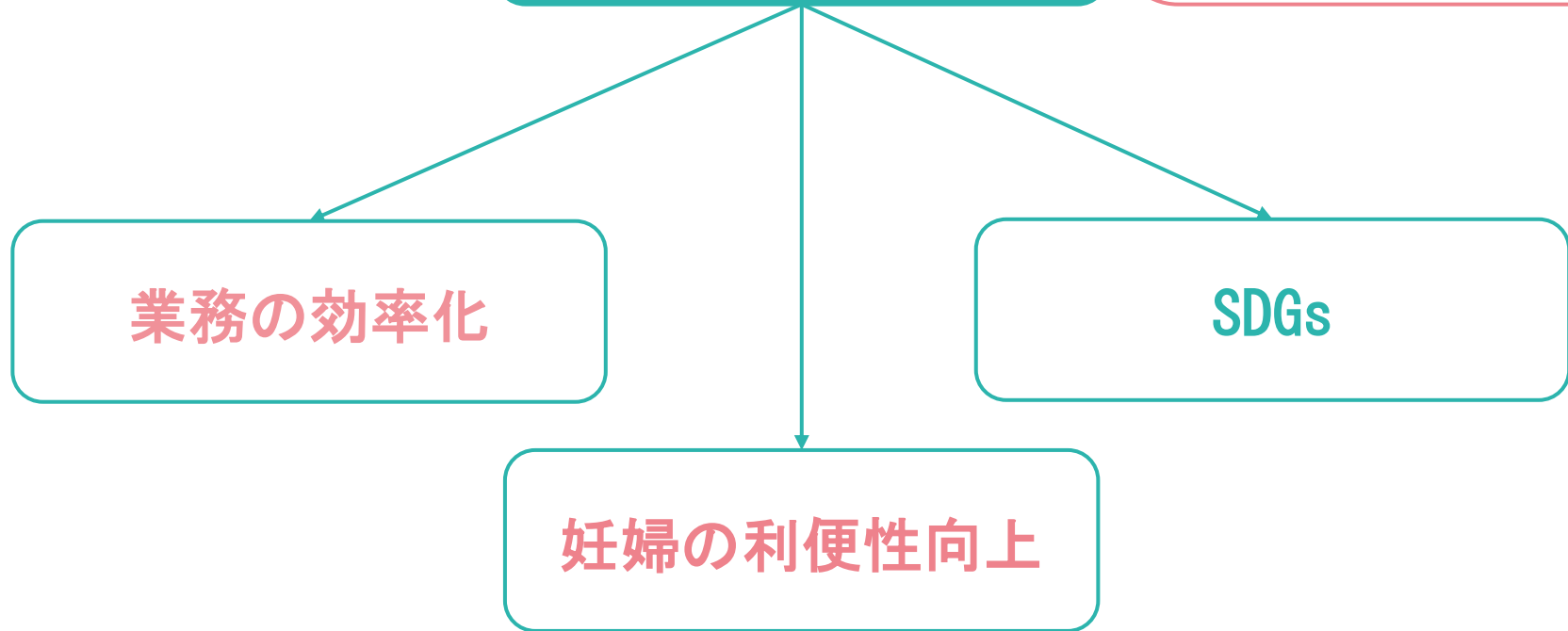
妊婦への情報提供の
ICT化

多くの妊婦が利用する
スマートフォンを
利用！

業務の効率化

SDGs

妊婦の利便性向上



目的1 | 業務の効率化、費用の削減

目標

- 配信を活用し産科外来での説明時間を半減
- 妊婦用テキストの印刷費用削減
- スタッフの業務負担の軽減

目的2 | 妊婦の利便性向上と効果的な情報提供

目標

- 配信方法、電子媒体の評価が高い
- コミュニケーションアプリの利用率が高い
- 母親学級の予約取得方法の評価が高い

取り組み内容

システム構築

- ・ 予算調整
- ・ システムベンダーとのミーティング
- ・ システムおよび運用の構築

コンテンツ作成

- ・ テキスト内容を含めた、配信内容の作成
- ・ 配信時期の調整

予約システム構築

- ・ 母親学級予約システムの構築

対象者評価

- ・ 妊婦：webアンケート回答
- ・ 医療者：視聴率確認、アンケート回答

取り組みの流れ

2022年7月

プロジェクトチーム発足

- 院内方針：ICTを活用した業務改善の推進
- 企業とコラボ：妊婦を対象としてスマートフォンのコミュニケーションアプリを活用した情報配信の提案を検討
- プロジェクトチーム：多職種で構成
- 定期会議 1回/月

2022年7月

問題点の明確化と目標設定

- 情報配信に関する助産師・看護師視点の問題点、改善点の明確化
- 利用者である妊婦視点での問題点、ケアの質の向上の明確化
- 近年の状況から、緊急時や災害時に活用したい

2022年8月～
2023年3月

配信内容の選別と作成

①

- システムベンダーのサンプルを確認
- 配信するコンテンツ枠を決める
- 作成済みの動画の使用と新たな動画作成の検討
- 配信内容の作成を各課で行う

2023年2月

システム運用方法の決定

②

- 配信対象範囲の選定
- 登録方法、配信停止について
- システムメニューの確定
- 各妊娠週数に応じて配信するメッセージの検討

2023年4月～
2023年5月

母親学級予約システム構築

③

- 母親学級予約システムを内部で構築
- 母親学級、両親学級の参加者情報の取り扱いの検討
- 予約枠の作成

2023年5月～
2023年7月～

配信開始

- 5月：スマートフォンを使用した患者説明と「病院からのお知らせ」情報の配信
- 7月：母親学級予約システムからの予約受付開始
- 評価実施

取り組み内容

1 配信内容の選別と作成

医師、看護職、薬剤師、栄養士、歯科衛生士が分担作成

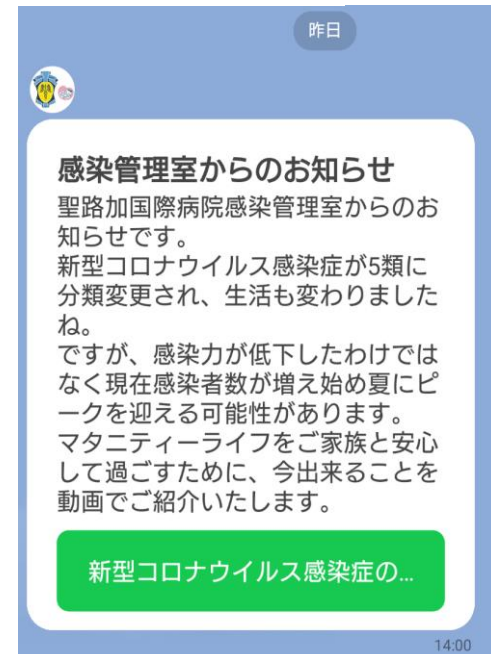
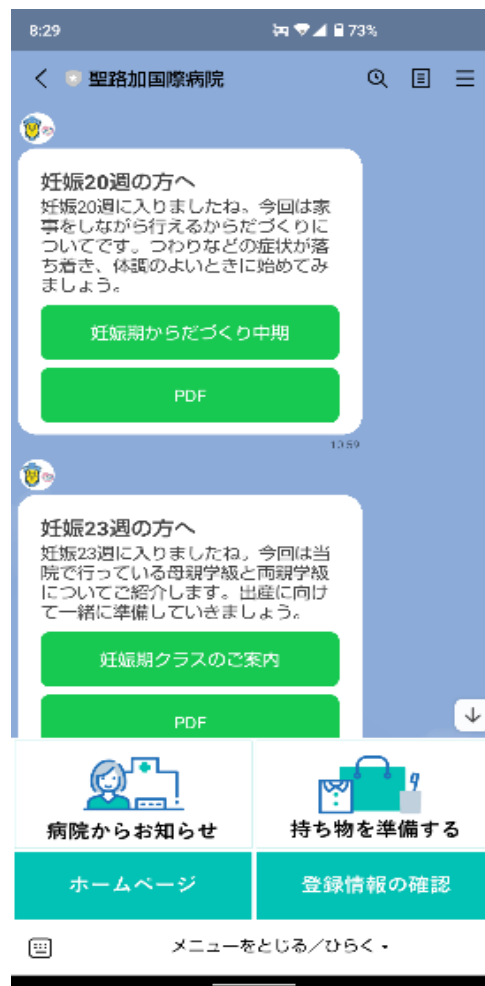
○ システムベンダーのサンプルを確認

○ 配信内容の選別と作成

- 配信するコンテンツ枠を決める
- 配信内容を、外来の説明内容やテキストから選別し、週数ごとの配信内容を決定
- 企業に依頼する音声動画は原案を作成
- 当院で作成済みの説明はそのまま使用
- 音声動画は3～4分以内で作成

○ 「病院からのお知らせ」配信

- 毎月季節に合わせたトピックスを配信



病院からのお知らせ

取り組み内容

2 システム運用方法の決定

システムベンダーとプロジェクトメンバーで
システムの管理方法を検討

○システムメニューの確定

- 病院からのお知らせ、入院時の持ち物、病院ホームページ

○配信対象者、登録方法、停止方法の確定

- 配信対象範囲：妊婦（本人）
年間の分娩数から常時1000件以上の登録が見込まれるため
パートナーは対象外とした
- 登録方法
産科外来でスマートフォンのコミュニケーションアプリを利用してQRコードで登録
- 配信停止などの対応
配信の停止依頼は担当者が管理画面操作で行う

○妊娠の各週数に配信するメッセージの確定

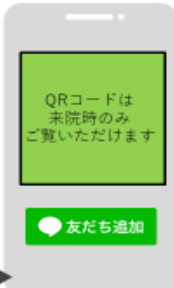
○産科病棟、産科外来での周知活動

- 助産師外来での対応の説明
- 内容、登録、配信、運用などの説明

友だち登録
お願いします

出産準備を アプリで サポートします

QRコードは
来院時のみ
ご覧いただけます




当院では、出産までの準備を
通知や動画でサポートして
います。
必ずご覧ください。

スマホカメラでQRコードを読み取ると
友だち登録できます。
※通信費に関しては、利用者のご負担となりますのでご了承ください。

安心してお使いいただくために

「 」と友達になると登録日から出産予定日
30日後まで、期間限定で病院とつながります。

- ✓ 出産までの準備を通知や動画でサポートします。
- ✓ アカウント（名）は病院に通知されません。
- ✓ 登録した氏名等の個人情報 トーク上に残りません。
- ✓ 当院では**ご本人のみ登録が可能です。**
（ご家族はご利用いただけません）



3 母親学級の予約システムの構築

予約システムを作成（※）し

コミュニケーションアプリ経由で配信 ※自院にて予約システムを作成

○予約管理ツールで 母親学級予約システムを作成

- ・スマートフォンの母親学級の案内から予約システムにつながる
- ・母親学級開始3日前と前日にリマインドメールが配信される

○母親学級、両親学級の 参加者情報の取り扱い

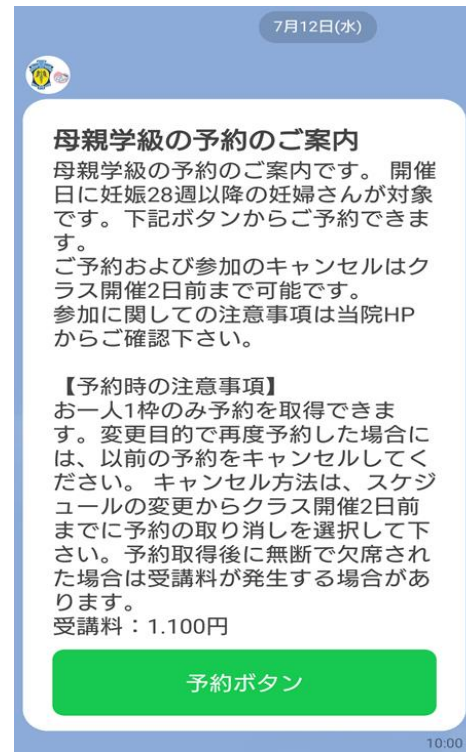
- ・受付時に診察券のバーコード情報を読み取り、参加者の情報を確認する

○助産師が予約管理ツールで 予約枠を作成

母親学級：1回30名の枠×月2回

両親学級：1回20組×月2回

- ・参加者数は自動集計される



▲母親学級の予約案内画面



▲母親学級の予約ページ

成果

成果 1 | 業務時間の削減

○ 集団説明会に要する時間の減少

1回165分 × 月3回 × 12カ月
= 99時間/年間



初回の集団説明会の廃止により
0時間

○ 母親学級の説明と予約説明に要する時間の減少

5～8分/妊婦1人
※分娩数1,400件/年



2～3分/妊婦1人

▶ 年間約150～180時間の業務時間削減効果

成果 2 | 印刷費用の削減

○ 母親学級テキスト印刷費用の減少

年間約45万円
※印刷部数1,560件/年



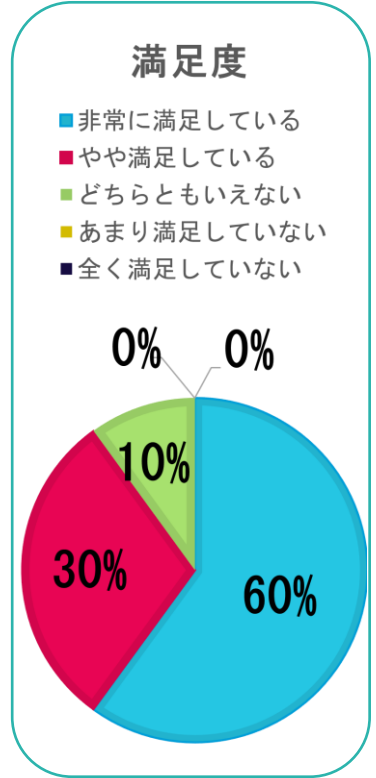
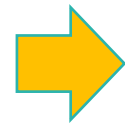
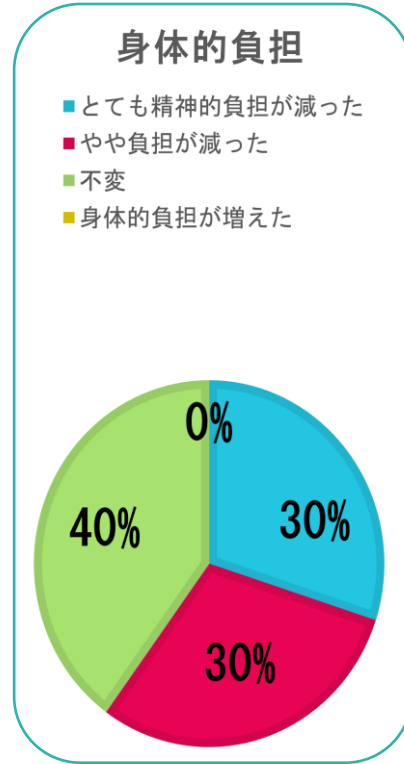
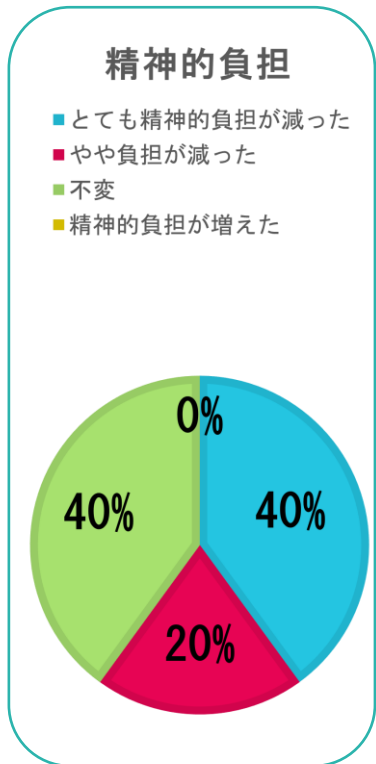
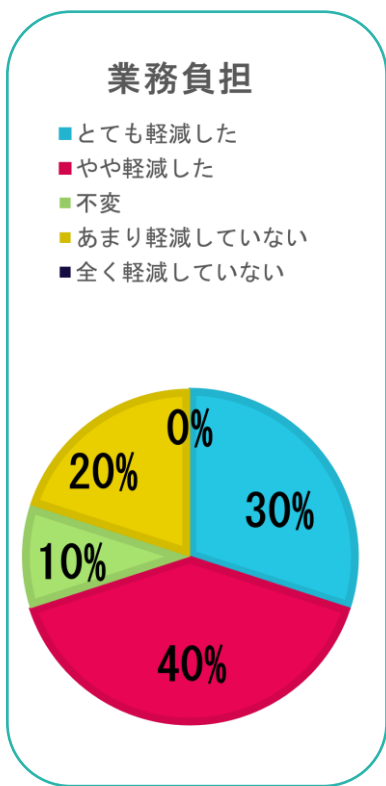
印刷廃止のため **0円**

▶ 年間約45万円の経費削減効果

効果1 | スタッフの負担感の軽減

○外来・病棟助産師・看護師の20名にアンケート実施

アプリ・予約システム導入後の精神的・身体的負担、満足度を調査



効果2 | 妊婦の利便性の向上

○配信開始3週間後、利用者200人にWebアンケートを行った
(回収率：40%)

利便性：97.4% 便利

- ・スマートフォンならいつでも視聴できる
- ・母親学級の予約が便利になった

動画の理解度：96.1% わかりやすい

- ・週数に合った情報が届く
- ・紙媒体より画面のほうが見やすい
- ・1単元が短いので短時間で視聴できる

説明動画の視聴状況

全て視聴	65.8%
7割程度視聴	23.7%
5割程度視聴	7.9%
3割以下視聴	2.4%

1 | 多職種連携で取り組む

- 配信内容は、医師、看護職、栄養士、薬剤師、歯科衛生士などが分担協力して作成する。
- 予算調整や病院内部調整、企業とのシステム構築に関する協議、個人情報保護および著作権などのコンプライアンス遵守には事務職員の協力を得る。

2 | 契約企業との連携

- プロジェクトチームがどのような配信を行っていきたいのか、企業と考えを共有する。
- 予算やスケジュール、要望を明確にする。
- 配信時期や内容を計画的に決める。

1 | 院内の患者説明ツールとしての活用

- 院内全体で、手術や入院の説明、検査説明などに活用したい
- 患者とその家族を対象として活用したい

2 | 災害発生時等におけるスマートフォンの活用

- 災害発生時等の緊急時に病院からの連絡ツールとして活用したい
- 電話やメールより繋がりがやすいというメリットがある